

# 第10回九州森林フォーラム in 小国

平成20年10月3日(金) 山の見学会・10月4日(土) 九州森林フォーラム

## 子供たちに豊かな森林を引き継ぐために ～九州の人工林施業を見直そう～



10月3日(金) 山の見学会

13時:小国町森林組合駐車場集合 18時～:懇親会 木魂館(会費 4,000円)



10月4日(土) 第10回九州森林フォーラム in 小国

10時～:情報企画センター(阿蘇農協小国郷中央支所)

<基調講演> 藤森隆郎氏(日本森林技術協会 技術監査役)  
「持続可能な森林の管理に向けた人工林施業のあり方」  
湯浅 勲氏(日吉町森林組合 参事)  
「日吉町の森づくりと人材育成のビジョン」

<パネルディスカッション>  
「伐採・利用・更新の技術を見直そう」

パネラー: 藤森隆郎氏  
湯浅 勲氏  
小国町森林組合  
日田市森林組合  
ひむか維新の会  
トライウッド  
マルマタ林業



[主催] NPO法人九州森林ネットワーク

[共催] 小国町、くまもと森林認証住宅ネットワーク「小国杉の家」、小国町森林組合、NPO日本の杉桧を守る会

[後援] 熊本県、熊本県森林組合連合会、熊本日日新聞社、大分県、宮崎県諸塚村、大分県日田市役所、耳川広域森林組合、浮羽森林組合、(株)トライウッド、他九州各県

<申し込み問合せ先> NPO法人九州森林ネットワーク事務局 (小国町森林組合事務所内) Tel 0967-46-2411  
E-mail info@ogunisugi.com URL <http://www.geocities.jp/shinrin9net/>

# 第10回九州森林フォーラム in 小国

平成20年10月3日(金) 山の見学会 10月4日(土) フォーラム:小国町 情報企画センター

## 子供たちに豊かな森林を引き継ぐために ～九州の人工林施業を見直そう～

現在、戦後植栽の人工林が利用段階を迎えており、それを適切に伐採、利用し、確実に更新させていくことが求められています。伐採・利用・更新、そしてその後の育林を誰が、どのような技術体系で担っていけるのか？次世代に豊かな森林を継承するために、様々な課題が横たわっています。

九州では、世界的な木材需要の高まりを背景として近年、大規模な木材工場が操業し、国産材需要が高まり、「追い風」時代だといわれています。しかし、木材価格は長期低迷し、一定の収入を得ようとしたら大量に伐採せざるをえない状況にあり、皆伐面積が増加しています。全国的には、間伐を繰り返して長伐期にしていこうという流れがあり、政策的にもそれが推進されています。しかし、九州では、台風による風害リスクが高いことや高齢級にしても価格上昇が期待できないこと等々が指摘されています。

そうした条件下で、九州で非皆伐施業はできないのか？皆伐による水土保全機能低下を最小限に抑えるための工夫や早期回復させるための施業技術は？植林や下刈りの省力化手法は？天然林に誘導すべき人工林の管理とは？・・・など、経済と環境を調和させるために、地域の実情に合わせた施業システムについて整理することが求められます。

基調講演は8回目フォーラムに続き、藤森隆郎先生にお願いし、長年の森林生態学のご研究を基に、九州の人工林施業のあり方に対してご提言頂きます。更に、今回は九州外の現場の実務者から、施業の集団化と間伐施業の効率化、所有者への森林プランの提示、人材育成などで注目されている京都府の日吉町森林組合から湯浅勲参事にも講師をお願いしました。

当日は、九州の山々の現場で日夜、森林づくりに取り組まれている方々と共に、地域に根ざした人工林施業の将来ビジョンを熱く語って頂きたいと思っております。第10回目の記念フォーラムです。

皆様の参加をお待ちしています。

NPO法人 九州森林ネットワーク

### <基調講演者プロフィール>

#### 藤森隆郎氏(ふじもり・たかお)

##### ■持続可能な森林の管理に向けた人工林施業のあり方

所属:日本森林技術協会技術指導役

1938年京都市生まれ。1963年京都大学農学部林学科卒業。農林省林業試験場(現在の独立行政法人森林総合研究所)入省後、森林の生態と造林に関する研究に従事。1999年、森林環境部長を最後に森林総合研究所を退職。現在までに、国連の持続可能な森林管理の基準・指標作成委員会の日本代表、気候変動に関する政府間パネル(IPPC)第3次報告書執筆委員などを歴任。農学博士。

『新たな森林管理～持続可能な社会へ向けて～』(全国林業改良普及協会)

『森との共生』(丸善ライブラリー 322)など著書多数

#### 湯浅 勲氏(ゆあさ・いさお)

##### ■日吉町の森づくりと人材育成のビジョン

日吉町森林組合参事

1951年京都府南丹市(旧・日吉町)生まれ。

高校卒業後、エンジニアとして大企業に3年間つとめ、その後、中小企業で技術屋として働く。1987年、35歳の時に地元の日吉町森林組合に転職。以来、「一人ひとりの職員がいきいき」をモットーに職場改善を進めながら、職員みんなで「日吉の森復活作戦」を展開。「森林カルテ」、「森林プラン」などの明快な仕事のすすめかたで地域の森林所有者との信頼関係を築いてきた。近年その手法が全国の林業関係者の注目を集め、大勢の人が日吉町森林組合の視察に訪れるようになった。座右の銘は、「心のどん底が納得しているかどうか、そこが大事」(相田みつを)、「三方よし」(売り手よし、買い手よし、世間よし)。



## 第10回九州森林フォーラム in 小国 参加申込書

申込先:NPO法人九州森林ネットワーク事務局

熊本県阿蘇郡小国町宮原1802-1 小国町森林組合事務所内

Tel 0967-46-2411 Fax 0967-46-5474 E-mail:info@ogunisugi.com



申込代表者

氏名	(社名)	tel	
住所		e-mail	

参加者氏名	10月3日(金)			10月4日(土)				
	やまの見学会	交流会 4,000円	宿泊費(朝食 消費税込) 4,200円	フォーラム資料代 (会員無料) 1,000円	フォーラム前半 基調講演	昼食 弁当 500円	フォーラム後半 パネルディスカッション	
(例)九州花子	○	○	男性・ <del>女性</del>	○	○	○	○	(例)9,700円
			男性・女性					円
			男性・女性					円
	人	人	人	人	人	人	人	円

(例)を参考に、参加希望の欄に○印をつけて下さい。金額が記載されている分は、その合計金額が参加費合計になります。